

## 遙かに加賀白山を仰いで

### 土庫病院ハイキングクラブ例会＝伊吹北尾根

5月18日、土庫病院ハイキングクラブ主催の伊吹北尾根歩きに参加した。総勢24名を乗せたバスは京滋バイパスから名神をひた走って、9時過ぎから伊吹山ドライブウェイを登っていく。

他人様に運転してもらって、花と新緑にキョロキョロしながらのドライブ、何と言う幸せか。

10時過ぎには静馬ヶ原から北尾根を歩き出す。

前日のハイキング講座「地質から見た近畿の山々」で「付加体」を学んだ。付加体とは海洋プレートが大陸プレートの下にもぐりこむ際に、海

写真下 ニリンソウ



洋プレートの上部が剥ぎ取られて大陸に付着したもの。この伊吹山も「付加体」で、元々は2億5千万年前に太平洋で形成されたさんご礁だそうだ。この石灰岩の山は美しい花を咲かせる植物が多いのでも有名。

カタクリはすでに花期を終えようとしているが、イチリンソウ、ニリンソウ、ヒトリシズカ、ルイヨウボタン、ヤマエンゴサク、フタバアオイ、アラゲヒョウタンボク、エンレイソウ、ラショウモンカズラ、サンカヨウ、クサボケ、アマナ、ヤマブキソウそしてヤマシャクヤクまでが蕾を解いて花を見せてくれたのだ。

8日前に横山岳で満開だったイワウチワが花を残していなかったのは残念だったが、

写真下 ヤマエンゴサク



周囲の山々の新緑は十分に見応えがあった。

そしてその新緑のうねりを従えるかのように白銀の加賀白山が北方に聳えていた。白山の英姿を国見岳から遠望できたのは、思いがけなく、そしてこの日の圧巻であった。

この山行はクラブの例会とは言え、力量不詳・多人数での山歩きの難しさを改めて痛感させられたものでもあった。

帰宅大幅遅延ながらも全員無事で何より。

写真下 ヤマブキソウ



写真下 ヒトリシズカ



野山の不思議 ⑨ この項は「ふれあい広場」に掲載されたものに加筆しています。

## 性転換する植物 マムシグサ

写真はマムシグサ（蝮草）という植物でサトイモ科テンナンショウ属に属します。特異な形の花と茎のまむしのような紋様を見たことのある人も多いでしょう。

この植物は性転換をすることで有名です。多年生で若い間は花をつけず、少し力がつくと雄花を咲かせる雄株になり、さらに大きくなると雌株になりますが、実をならせて力が衰えるとまた雄株に戻ったりするのです。それだけ実をつけて種子を残すという作業はエネルギーを必要とするのですね。それにしても性転換しながら個体と種の維持・繁栄をはかるとは驚きですね。



でも性転換は自然界では珍しくなく、イソギンチャクと共存している魚のカクレクマノミなどのそれはよく知られています。

話変わって4月9日の朝日新聞は「ウナギ初の完全養殖」を報じました。今まで養殖ウナギはほとんどがオスになっていたのですが、稚魚へのホルモン投与でメス化に成功したとのこと。またワニ、カメ、一部のトカゲでは卵の時の周辺温度によって性別が決まり、中には染色体の性と孵化後の性とが食い違う事も少なくないそうです。

性のしくみについては更に研究・解明が進められるでしょうが、「オスとメスとの間に絶対不変の境界線があるのではない」ことは確かでしょう。(写真撮影 澤木仁さん)

## 街路樹のユリノキ 花が咲いています

ユリノキに花が咲いています。

5月中旬現在、桜井駅南口から南に向かう商店街の、また高田市立図書館前の、いずれも街路樹に咲いていました。一度ご覧下さい。

右 ユリノキの花



## クリーンハイクにご参加下さい

今年も清掃登山が全国一斉に行われます。奈良でも幾つものコースで行われますが、私が所属するオオヤマレンゲ山の会は下記の要領で実施します。ご参加下さい。

時 6月6日(日) 午前9時出発

所 近鉄吉野線壺阪山駅前

目的地 高取山(高取城址)

服装・装備 ハイキング装備、リュック、  
雨具、弁当、水筒、

参加費 200円 (以上118号)